



よろん在宅フォーラム

～与論の医療と暮らし・街づくりについてみんなで考える会～

令和4年3月19日(土)

15:00～18:00 サビチラ館

YouTube視聴参加あり (講演のみ) 15:00～

参加料

無料

YouTubeで
全国に配信

(オンデマンド配信予定)

■開会のあいさつ：山 元宗 与論町長

■事業報告：末永 真由美 在宅支援人材育成専門員

■講演

基調講演：『パナウル診療所の在宅診療の軌跡』

古川 誠二 先生

特別講演：『あなたはどのように人生の最期を迎えたいですか？』

長尾 和宏 先生

講演：『在宅医療について 与論でできること』

佐々木 淳 先生

講演：『与論徳洲会病院と地域とのつながり』

高杉 香志也 先生

講演：『介護老人保健施設と地域とのつながり』

和田 峰光 先生



元パナウル診療所院長
古川 誠二先生



医療法人社団裕和会
理事長
長尾 和宏先生



医療法人徳洲会
与論徳洲会病院院長
高杉 香志也先生



医療法人社団悠翔会
理事長
佐々木 淳先生

■意見交換会 (16:50～17:55) コーディネーター：末永 真由美専門員

◆古川 誠二 先生

◆長尾 和宏 先生

◆佐々木 淳 先生

◆小林 真介 先生 (パナウル診療所院長就任予定)

◆高杉 香志也 先生

◆和田 峰光 先生

◆田畑 香織 地女連会長・株式会社まなび島社長

◆山本 池富 自公連副会長

◆平田 暢孝 老人クラブ会長



在宅支援人材育成専門員
末永 真由美氏



医療法人龍美会
老健 風花苑施設長
龍美クリニック院長
和田 峰光先生

■閉会のあいさつ：大田 元茂 与論町社会福祉協議会会長

～参加方法はこちら～

●サビチラ館で参加

(感染症対策のため80名程度とさせていただきます。)

- ・右のQRコードでお申し込み
- ・役場のホームページもしくはお電話で (0997-97-4930 町民福祉課 林)



●YouTubeで視聴参加

<https://www.youtube.com/watch?v=mABWWpC6fgg>

状況により映像や音声途切れる場合があります。
3G/4G/5G/LTE回線での視聴の場合、データ通信量には各自ご注意ください。
Wi-Fi環境下での視聴をお勧めします。



■主催：与論町

■共催：与論町社会福祉協議会

問い合わせ：与論町役場 町民福祉課 97-4930(平日午前9時～午後5時)

背景写真提供：白山 裕士 先生



登壇者のご紹介



古川 誠二 (こかわ せいじ)

1949年 徳島県生まれ
1976年 久留米大学医学部卒
徳島大学医学部第一内科入局
1981年 徳洲会病院勤務
1988年 与論町立診療所勤務
1991年 パナウル診療所開業
鹿児島大学臨床 離島医療塾開催
2020年 同院閉院
与論徳洲会病院非常勤勤務
2022年1月より清和会協立病院非常勤勤務



佐々木 淳 (ささき じゅん)

医療法人社団悠翔会理事長・診療部長
1973年京都市生まれ。1998年筑波大学
医学専門学群卒業。社会福祉法人三井記念病院内科/
消化器内科に入局。その後、東京大学大学院に進学す
るが、アルバイトで偶然、在宅医療に出会う。ここで、
患者さんたちから「たとえ治らない病気や障害があっ
ても、最後まで幸せに生きることができる」ことを
教えられ、衝撃を受けるとともに、「病気とともにより
よく生きる」ことを支えられる医療が絶対的に不足
していることを痛感。在宅医療に対する強い興味と魅
力に逆らえず、同年5月に大学院を退学、8月に最初の
在宅療養支援診療所を開設し、一人で在宅医療を始め
る。徐々に仲間が増え、2008年 医療法人社団悠翔会
に法人化、理事長就任。現在、首都圏ならびに沖縄県
(南風原町)に計18か所の在宅診療拠点を展開、約
6,600名の在宅患者さんへ24時間対応の在宅総合診療
を提供している。



高杉 香志也 (たかすぎ かしや)

医療法人徳洲会与論徳洲会病院院長
山口大学医学部を卒業後、山口大学
医学部附属病院をはじめ、東京大学付属病院、与論徳
洲会病院、熊本大学、天草地域医療センター総合診療
科を経て令和2年4月より与論徳洲会病院の院長に就
任となる。総合内科医として与論島全体の急性期医療、
慢性期医療など一手に引き受けている。コロナ禍にお
いては、与論のチームリーダーとして活躍中である。



田畑 香織 (たばた かおり)

株式会社まなび島社長
地域女性団体連絡協議会会長
1983年生まれ
与論育ち、与論高校まで与論で過ごし、アメリカの大学へ進学。
卒業後は、株式会社リクルートで約10年間勤務し、35歳の時に、
与論島へUターン。
現在は学習塾まなび島を経営しながら教育・人材育成を通して
今後100年輝き続ける島づくりのために日々奮闘中。



長尾 和宏 (ながお かずひろ)

医療法人社団裕和会 理事長
1958年香川県生まれ。町医者。高校時代に
実父が自死したことをきっかけに医者を
目指す。苦学の末に東京医科大学入学。学生時代に無医
地区活動に取り組んだことから、地域医療に目覚める。
1984年大阪大学第二内科入局。1995年尼崎に「長尾ク
リニック」を開業。町医者に誇りをもち、外来診療と在
宅医療に邁進。
コロナ禍の日々を綴った『ひとりも死なせへん』がベス
トセラー。
原作映画に『痛くない死に方』(柄本佑主演、高橋伴明
監督)や、本人を追ったドキュメンタリー映画『けっ
たいな町医者』(毛利安孝監督)もロングラン上映中。



小林 真介 (こばやし しんすけ)

パナウル診療所院長(就任予定)
1980年埼玉県生まれ。中高6年間を
鹿児島ラ・サール学園で過ごす。
2003年東京大学文学部卒業、2010年鹿児島大学医学
部卒業。大学時代にパナウル診療所での離島実習を経
験し、限られた医療資源のなかで患者さんに全人的に
真摯に向き合う多くの医療者に出会い、病気のことは
もちろん、病気以外についても向き合える医師になり
たいと考え、在宅医療を志す。
鹿児島大学卒業後は佐野厚生総合病院、柏厚生総合病
院勤務を経て、2016年より医療法人社団悠翔会悠翔会
在宅クリニック柏勤務。2018年同クリニック院長就任。
2022年、パナウル診療所院長就任予定。総合内科専門
医、消化器病専門医、産業医。



和田 峰光 (わだ たかみつ)

老人保健施設風花苑施設長・
龍美クリニック院長・産業医
佐賀大学医学部卒。日本眼科学会専門医認定。鹿児島県
医師会認定かかりつけ医。眼科の診療および、内科医と
して外来を担当しながら、老健で高齢者の健康管理に携
わっている。老健施設の機能の充実と役割を果たすため
に日々高齢者へのきめ細やかな配慮を欠かさない。



●アンケートにご協力ください

当イベントに関するご感想を是非お聞かせ
ください。
右のQRコードからどうぞ。
(与論町ホームページからも
ご利用可能です。)

